

競 技 注 意 事 項

1 本大会は 2022 年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

2 スタートについて

TR16.5 については非適応とする。但し、(16.5.1)、(16.5.2)、(16.5.3)の不適切行為が繰り返し行われたり、悪質なものには TR16.5・TR7.2 を適応とする。

3 場内司令について

競技者・補助員・競技役員以外は、競技場に入ってはならない。

また、競技者の本部前の通行は厳禁とする。

4 練習について

練習は補助競技場または雨天練習場を使用すること。

ただし、跳躍競技・投てき競技の練習は、招集完了後、役員の指示に従って行うこと。

(フィールド競技は招集完了時刻以前には、フィールド内に入ることはできない)

監督・顧問・キャプテンは、チームに徹底させること。

①メイン競技場での練習は、競技場開場時刻から最初の競技開始時刻の 40 分前まで使用可とする。

②雨天練習場での練習は、走る方向は一方通行とし、危険防止に努めること。

③練習は各個人が指定された場所で行い、事故防止には万全を期すこと。

5 招集について

①招集所は、競技場第 4 ゲート外に設ける。(ただし、棒高跳を除く)

②競技者は、招集開始時刻に招集所で待機し、最終確認を受けること。その際、アスリートビブス、競技用靴・衣類・持ち物等の点検を受けること。

③各種目の招集開始・完了時刻は、当該種目の競技開始時刻を基準とする。

招集開始時刻及び完了時刻は競技日程表に記載している。

④招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとして処理する。

⑤代理人による招集は一切認めない。

⑥2 種目同時に兼ねて出場する競技者は、最初の種目の招集開始時刻前に「2 種目同時出場届」を招集所に提出すること。

⑦出場種目を欠場する場合は、招集開始時刻までに「欠場届」を招集所に提出すること。

⑧「リレーオーダー用紙」は、招集完了時刻の 1 時間前までに招集所に提出すること。

「2 種目同時出場届」「欠場届」「リレーオーダー用紙」はプログラム巻末に綴じているが、不足が生じた場合は正面玄関前 T I C で受け取ること。

6 表彰について

①表彰については、棒高跳のみ実施します。

②棒高跳以外の入賞者(1 位～3 位)は正面玄関前 T I C で賞状を受け取ること。

7 競技者の入退場は、当該競技役員の指示に従うこと。

8 アスリートビブスは、ユニホームの胸と背に確実に付けること。
ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部のみでよい。

9 棒高跳について

①棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になり、優勝が決まるまでは下の通りとする。

| 種別 | 練習 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 以降 |
|----|----|------|------|------|------|------|------|------|---------|
| 男子 | | 4m20 | 4m30 | 4m40 | 4m50 | 4m60 | 4m70 | 4m80 | 10cm ずつ |
| 女子 | | 2m80 | 2m90 | 3m00 | 3m10 | 3m20 | 3m30 | 3m40 | 10cm ずつ |

②出場者は、主催者が用意したアスリートビブスを着用すること。

③招集は、競技場所（棒高跳ピット付近）で行う。

④練習については、競技場内棒高跳ピットにおいて、29・30日とも9時00分から招集開始時間（11時50分）まで行うことができる。

⑤ポールの搬入・搬出は、第4ゲートより行うこと。

10 やりの検定は、競技開始80分前から60分前までに第2ゲート外側の用器具庫入口付近にて行う。

11 応援に関しては、新型コロナウイルス感染防止の観点から、声を出しての応援は絶対にしないこと。

12 その他

①各チーム（学校等）は、待機場所の清掃を行うこと。

また、それぞれで出たゴミは、確実に持ち帰ること。

②個人情報の取り扱いについて

本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用しません。

③応急処置を要する場合及びその他健康上の問題が生じた場合は、競技役員に申し出て救護室を利用することができる。ただし、競技場内で起こった疾病、傷害などに対する応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。

④新型コロナウイルス感染防止対策に関して

- ・体調管理チェックシート【様式1】は、大会終了後1ヶ月間、各学校・チーム及び個人で保管しておくこと。（当日提出する必要はない）
- ・競技日程は、できるだけ密を避けるよう余裕を持たせているが、招集所等で大人数にならないよう各自注意すること。
- ・スタンド等の各学校・チームの待機場所では、マスクを着用するとともに密閉・密集空間とならないようにし、近距離での会話や発声・高唱を避けること。特に、昼食等を摂る場合は、黙食に務めるなど細心の注意を払いながら感染防止に努めること。
- ・更衣室を更衣以外で使用することは厳禁する。更衣は速やかに行い退室すること。
- ・器具等を触った手で口や目を触らず、競技前後の入念な手洗いをすること。